

議員提出議案第3号

杉並区議会として松下玲子武蔵野市長に対し武蔵野市住民投票条例案の撤回を、また武蔵野市議会に対し同条例案の否決を強く期待する決議
上記の議案を提出する。

令和3年12月3日

提出者 杉並区議会議員 佐々木 千 夏
同 田中 ゆうたろう

杉並区議会議長 大和田 伸 様

杉並区議会として松下玲子武蔵野市長に対し武蔵野市住民投票条例案の撤回を、また武蔵野市議会に対し同条例案の否決を強く期待する決議

松下玲子武蔵野市長は先月 19 日、武蔵野市住民投票条例案を武蔵野市議会に提案した。

同市は、国や東京都に関わる事項も含む広い範囲の政策意思決定に関わる住民投票権を、日本人と外国人に与える制度を作ろうとしている。

しかも、議会が拒否した内容の条例制定を求める住民投票権まで認めようとしている。この住民投票権が、選挙権よりも強力であり、また議会のもつ立法権や市長の持つ行政権よりも強力なものとなることは明らかである。

同市が、このような強力な権利を外国人にまで与えようとしていることについては、違憲のおそれがある外国人参政権の代替制度になりかねないとの強い懸念の声が、私たち杉並区議会議員のもとにも連日数多く寄せられているところである。

本条例案が可決された場合、同市の隣接自治体である杉並区も甚大な影響を被ることが予想される。同市と災害時相互協力協定も結ぶ当区として、この度の武蔵野市長の暴挙に対しては厳重に抗議すべきものとする。

杉並区議会として松下玲子武蔵野市長に対し武蔵野市住民投票条例案の撤回を、また武蔵野市議会に対し同条例案の否決を強く期待するものである。

以上、決議する。

令和 3 年 1 2 月 3 日

杉 並 区 議 会